「信頼と活力ある学校づくり(三年次)」

学校長　織田 克巳
(平成２２年４月1日より着任)

みなさま、こんにちは。
おかげさまで、校長として、多田小学校での３年目を迎えることになりました。
昨年は児童や教職員と共に、地域の方々の協力を得ながら、さまざまな体験学習や地域学習を実施しました。
市内でも有数の伝統ある学校だけに、猪名川での環境体験学習や多田神社を中心にした四季折々の樹木の観察、里山体験学習、地域体育祭や文化祭、もちつき体験など、地域と学校が密接につながる教育活動が展開されています。

本校では、平成１８年より、国語学習をとおして「深く考え　生き生きと学び合う子を育てる」をめざして、イメージを広げながら、読解力を高める国語学習を追究してきました。それは、学習指導要領の中心理念「生きる力」を念頭にしています。
来年度（平成２５年度）は市の指定研修として、「教育活動全体を子どもの立場から再編成する」という考えをもとに、国語学習を中心とした研究発表会を実施したいと考えます。
日々の子どもたちの「学びの姿」から、自分で考える楽しさ、友だちと関わる楽しさ、進んでチャレンジする楽しさが、国語の学習の時間だけでなく全教育活動の中に浸透しています。また、私たちが希求する「学びの力」が、子どもたちの笑顔と生き生きした活動の中に、少しずつ育ちつつあることも実感します。そのような子どもたちの姿を研究発表会でお見せできたらと願うのです。

４月１日現在、児童数は６２７名、学級数は２２クラスです。
始業式に子どもたちに、次の三つの目標を話す予定です。「よく考える子　なかよくする子　力いっぱいがんばる子」です。これは、本校のめざす児童像を子どもたちが理解しやすいようにと、シンプルなねらいにしたものです。
平成２４年度も、これまで同様に魅力ある多田小学校を創るために、教職員一同、地域や子どものよさを生かしながら、同僚性を発揮し、確かな学力と豊かな表現力、「もの・こと・ひと」との関わりを大事にした学校教育に努めていきます。
また、学校公開の機会を拡げ、ホームページでの学校情報の発信をとおして、保護者・地域から信頼される「開かれた学校づくり」を進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

本年度も、地域、家庭、行政との連携をさらに深めながら、
“ワクワクしている子ども　　イキイキしている教師　　キラキラしている学校”
というキャッチフレーズを掲げ、**「信頼と活力ある学校づくり」**の具現化に努めたいと考えます。